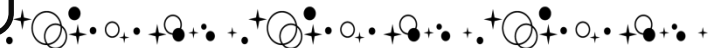
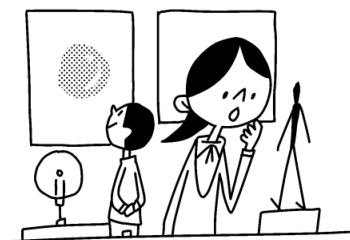
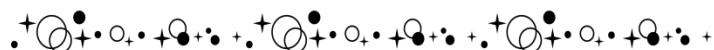


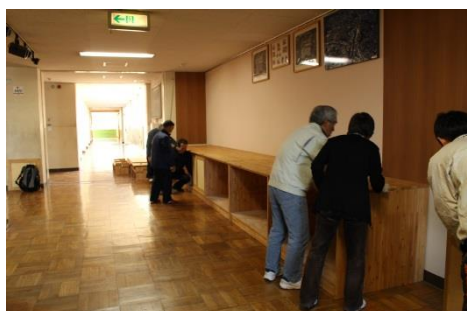
新しい展示棚が完成しました!



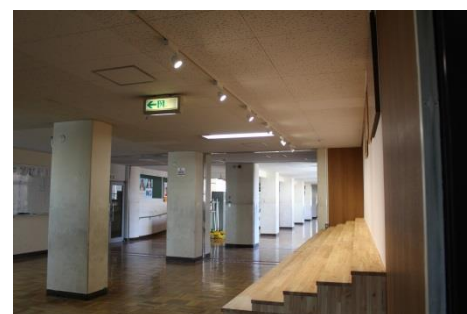
昇降口の新しい展示棚をもうご覧になっていただけたでしょうか。2月に棚が設置され、3月には照明も LED にかわりました。その後終業式まで生徒の作品が棚の上に飾られ、LED の光を浴びて光り輝く昇降口の一部が、まるで美術館のようでした。これからもこの場所が、授業で作成した生徒の作品やレポート、美術部の作品などが展示される、明るい交流の場になるよう願っています。下の棚には、周年行事の資料等が保管されています。外から見える位置には、記念誌や記念品が並べられていますので、こちらもぜひ足を止めてご覧になっていただければと思います。



2016年2月26日 棚の設置 *木のぬくもりが伝わる空間になりました*

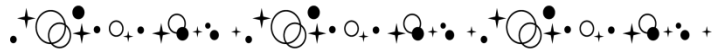


2016年3月3日 照明の設置 *ライトの位置が棚に近くなり、前より明るくなりました*

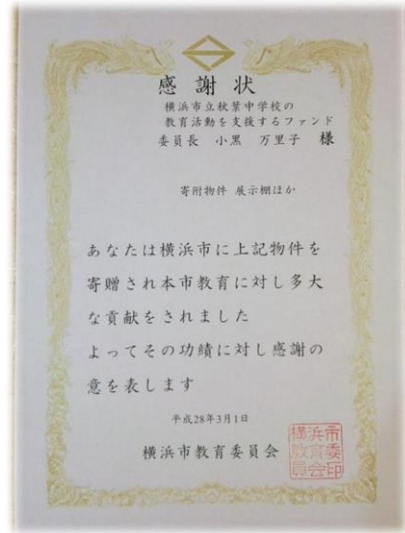


棚の木は、すべて北海道下川町のカラマツ材です。下川フォレストファミリーさんから送られてきた棚のパーツを、戸塚区の森ウィンド製作所さんが組み立て、塗装・設置をして下さいました。とても重量感のある、しっかりした棚です。照明も、消費電力の少ない LED ライトに変わりました。これで、いつでも気軽にこの場所を明るく照らすことができます。下川町の皆様、森ウィンド製作所の皆様、照明を設置して下さいました株式会社サンラムの皆様、本当にありがとうございました。

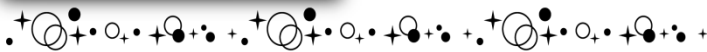




下川町さんから寄贈されたプレートです。北海道下川町産の木の上に、文字が焼き付けてあります。秋葉中学校の技能吏員さんが、棚の後ろの壁に取り付けて下さいました。



横浜市教育委員会から、秋葉中学校へ棚を寄付した事への感謝状が、秋葉中ファンドに届きました。



下川町とのつながり

川上地区連合町内会では、平成 23 年に北海道下川町と友好協定を締結してから、毎年、子ども達の交流を実施しています。夏休みには、下川町の子ども達が、横浜へ来て一緒に過ごします。冬休みには、川上地区の子ども達が下川町へ行き、「冬の体験キャンプ」と称する、マイナス 20 度の世界を体験します。

川上地区には小学校（秋葉小、川上小、品濃小）3 校と中学校（秋葉中）1 校があり、毎年、決められた研修と、その研修に参加したのちに提出する作文から「冬の体験キャンプ」へ選考がなされます。さらに、「男女共同参画センター横浜」のホールにて「冬の体験キャンプ」の報告会があり、参加者全員が発表します。

下川町の特産品には、「手延べそうめん」があります。川上地区で 3 年毎に開催される、夏の青少年レクリエーション大会の「流しそうめん」で皆さんに振る舞われます。また、完熟トマトだけを搾った「トマトジュース」の味は絶品です。

秋葉中ファンド副委員長
(前田町町内会会長)
高嶋 威男

コミュニティが深まる場所として

下川町は、北海道の北部に位置する人口約 3,500 人の小さな町です。総面積の約 9 割を森林で占め、これを活かした産業の振興や地球環境の保全、社会的課題の解決などを進め、横浜市同様、平成 20 年に環境モデル都市、平成 23 年に環境未来都市に選定されています。

横浜市とは、平成 23 年に戸塚区と川上地区連合町内会、下川町の三者で友好協定を締結。以来、川上地区のイベントで排出した CO2 を下川町の森づくりで埋め合わせしたカーボンオフセット、相互の地域へ子どもたちが訪問し、幅広い視野と経験を育む子ども交流、森林の保全と活用を行う戸塚の森の設置などを通し、交流を深めてきました。

この度は、横浜市立秋葉中学校の展示ブース改装に当たり、秋葉中ファンド様のご依頼を受け、下川町の木材を使用した展示棚を制作いたしました。次代を担う子どもたちの豊かな発想が形あるものとして展示され、多くの方々にご覧いただける場となること、また、この場を通しコミュニティが深まる一助になることを願っています。

北海道下川町環境未来都市推進課
主査 高原 義輝

学校ファンドによる支援について

秋葉中ファンドは、秋葉中学校及び秋葉中学校の子どもたちを応援するファンドです。(「ファンド」は、資金や基金という意味です。)

「秋葉中学校にもっとこんなものがあったら良いのに…」

「子どもたちのために、こんなことをしてあげられればいいのに…」

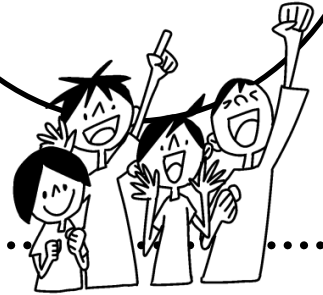
という皆さまからの声を運営委員会で検討し、少しずつ支援の輪を広げていければ、と考えております。

何かお気づきの点がございましたら、秋葉中ファンド事務局までご連絡下さい。よろしくお願いいたします。

タウンニュースで

紹介されました!!

タウンニュースの戸塚区版 No.568、2016年3月31日(木)号で、秋葉中ファンドが紹介されました。



寄付をありがとうございました!



3月26日に、平成12年度卒業生の同窓会が秋葉中学校の格技場で行われました。その場で秋葉中ファンドの紹介をさせていただいたところ、4200円の寄付が集まりました。卒業生の皆様、元秋葉中学校教員の皆様、ご協力ありがとうございました。他にも個人様より2口分、企業様より6口分の寄付をいただきました。秋葉中学校とその生徒たちのために大切に使用させていただきます。これからもご協力をよろしくお願いいたします。

しおり ファンドの葉ができました

秋葉中学校の校舎の写真と校歌の一部を使って、秋葉中ファンドのオリジナル葉を作りました。薄く削った白樺の木に印刷されています。今後は、一口以上の寄付をしてくださった方にお渡ししたり、広報活動の際に利用する予定です。

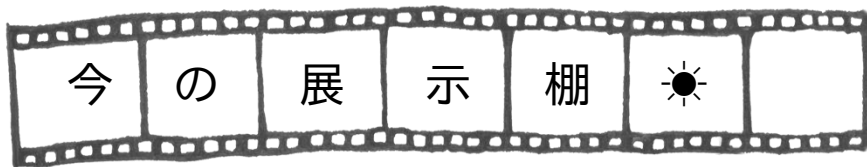
葉のデザイン

われらみな 伸びる力芽 この命 はつらつとあれ



秋葉中ファンド

*北海道下川町の木材を使用。



ほん

5月1日現在、昇降口の展示棚には、現在の3年生が美術の授業で制作した「印章」が飾られています。子どもたち一人ひとりが意匠を凝らし、個性あふれる作品に仕上げました。ぜひご覧になってください。



寄付について

口座はゆうちょ銀行に開設しておりますが、振込手数料は各自ご負担いただきますようお願い申し上げます。なお郵便局にキャッシュカードを作った口座をお持ちの方がATMで振り込まれますと、手数料は無料になります。また、今年度は体育祭・秋葉祭で募金箱による寄付活動も行っていきたいと思っております。事務局（秋葉中学校）まで直接お持ちいただいても構いません。よろしくお願いいたします。

【お振込先】 ゆうちょ銀行

●ゆうちょ銀行からの振り込み

記号 10230 口座番号 32756311 名義 アキバチュウファンド

●他金融機関からの振り込み

店名 ○二八（ゼロニハチ）店番 028 普通預金 3275631 名義 アキバチュウファンド



※ 寄付は、個人様は1口500円、法人・団体様は1口1000円からお願いしております。

※ 秋葉中ファンドの規約や案内は、秋葉中学校のHP (<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/jhs/akiba/>) の「秋葉中ファンド」の部分をクリックしてご覧ください。

※ 平成27年度の会計報告もこちらのHPでご確認ください。